

## 産科における母体急変時の対応（教育委員会主催）報告

今年度最後の研修会は2月11日(日)千葉市民会館にて開催されました。

妊娠分娩は、どんなに正常な経過をたどっていても常に急変の可能性があり、迅速に対応出来る知識と技術が必要になります。

今回は、さんむ医療センターでご活躍の神下優先生をお迎えし、周産期医療現場における子宮内反症やアナフィラキシーショック、肺塞栓症などの事例からシュミレーションでの具体的な対応と、グループ討論を交えて学ぶことができました。

参加者の年齢は20代から60代と幅広く、アンケートでは、「搬送基準を医師と再確認しなければと急変時の対応についてトレーニングの必要性を再認識できた」「どのように救急要請したらよいか、伝え方について知ることができた」「具体的な急変時の対応方法や搬送について学べた」等とのご意見が聞かれました。

教育委員会では、今後の研修会が、すべての妊産褥婦・新生児へ良質で安全なケアを提供することができる一助となるよう、準備していきたいと考えています。

文責：藤間由希

